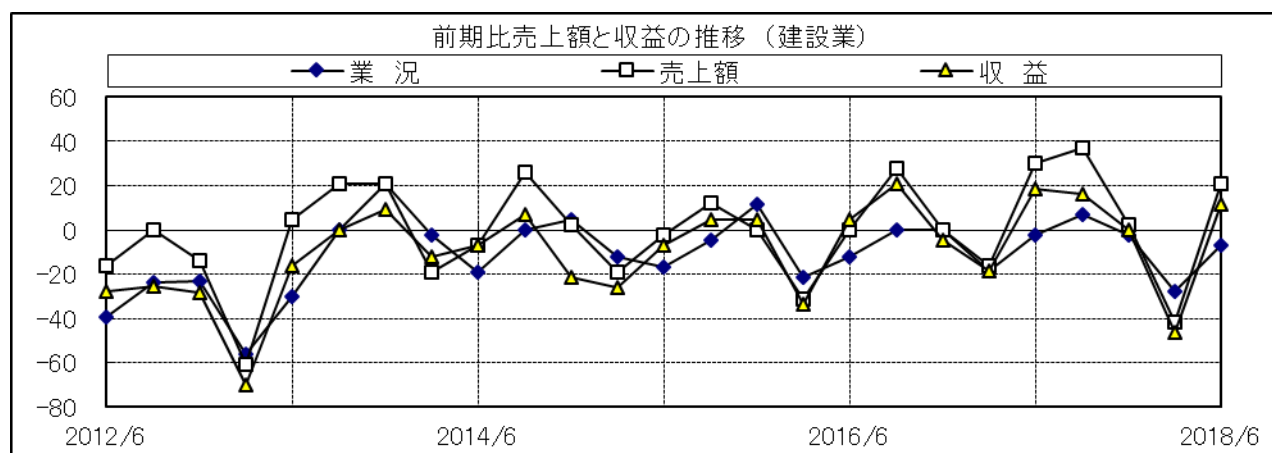


## 建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

### □ 景 況

| DI 値<br>の推移 | 10～12 月<br>期実績 | 1～3 月<br>期実績 | 4～6 月<br>期実績 | 7～9 月<br>期見通し |
|-------------|----------------|--------------|--------------|---------------|
| 業 況         | -2.4           | -27.9        | -7.0         | 11.6          |
| 売上額         | 2.3            | -41.8        | 20.9         | 34.8          |
| 収 益         | -0.1           | -46.5        | 11.5         | 18.5          |

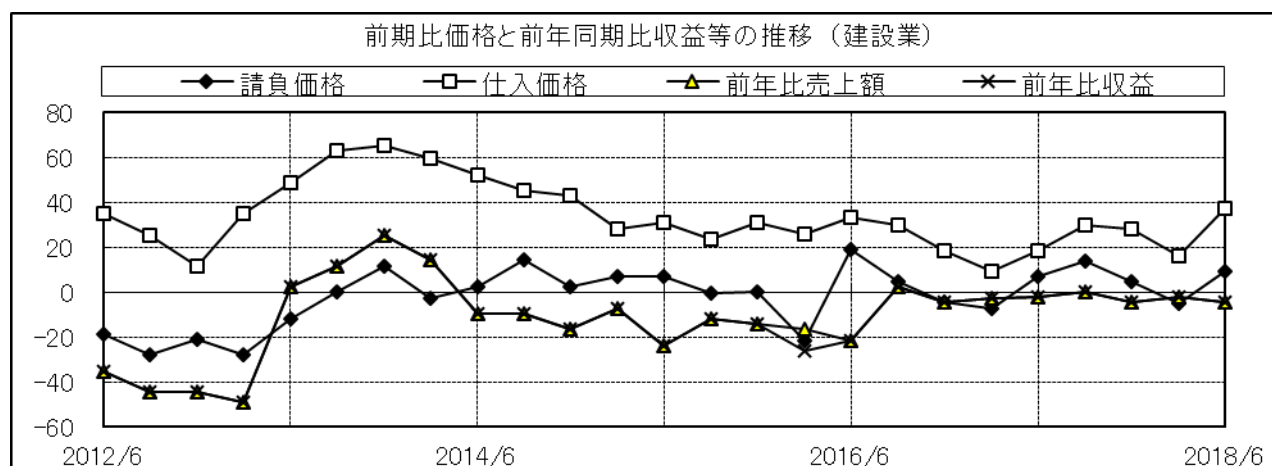
今期の業況判断 D. I. は  $\Delta 7.0$  で、前期比 20.9 ポイント上昇、前年 ( $\Delta 2.4$ ) 比では 4.6 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりもが一番高く、静内、浦河、三石、様似と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、前期比で 62.7 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は前期比で 58.0 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

| DI 値<br>の推移 | 10～12 月<br>期実績 | 1～3 月<br>期実績 | 4～6 月<br>期実績 | 7～9 月<br>期見通し |
|-------------|----------------|--------------|--------------|---------------|
| 請負価格        | 4.6            | -4.7         | 9.3          | 11.6          |
| 仕入価格        | 28.0           | 16.3         | 37.2         | 30.3          |

請負価格判断 D. I. は 9.3 で、前期比 14.0 ポイント上昇、前年 (6.9) 比 2.4 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 37.2 で、前期比 20.9 ポイント上昇、前年 (18.6) 比 18.6 ポイントの上昇となった。



### □ 雇用面の動き

| DI 値<br>の推移 | 10～12 月<br>期実績 | 1～3 月<br>期実績 | 4～6 月<br>期実績 | 7～9 月<br>期見通し |
|-------------|----------------|--------------|--------------|---------------|
| 残業時間        | 16.3           | -9.3         | 0.0          | 16.3          |
| 人手状況        | -23.3          | -16.3        | -11.6        | -18.6         |

残業時間判断 D. I. は 0.0 と前期比 9.3 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は  $\Delta 11.6$  と、前期比 4.7 ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

## □ 設備投資の動き

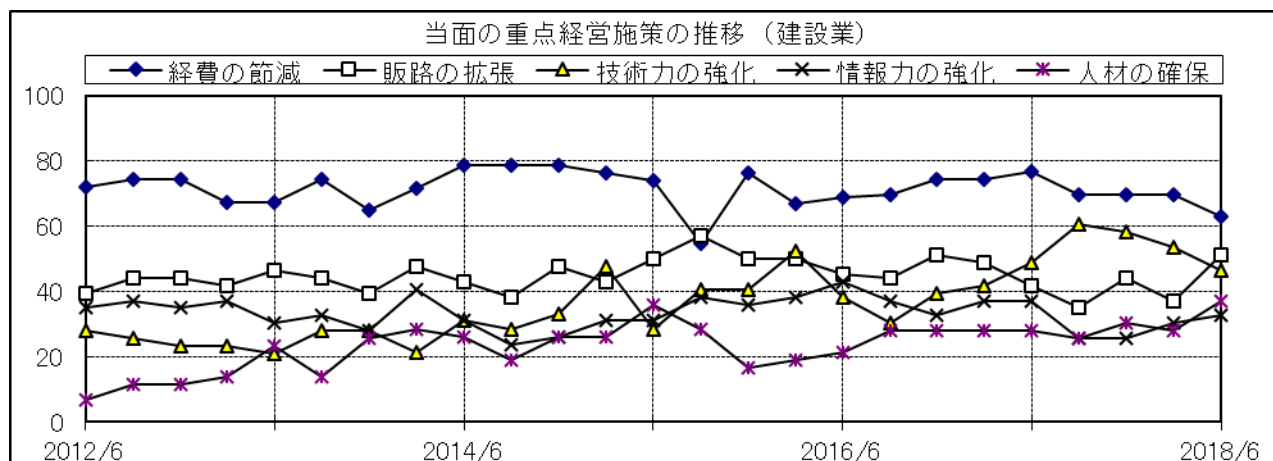
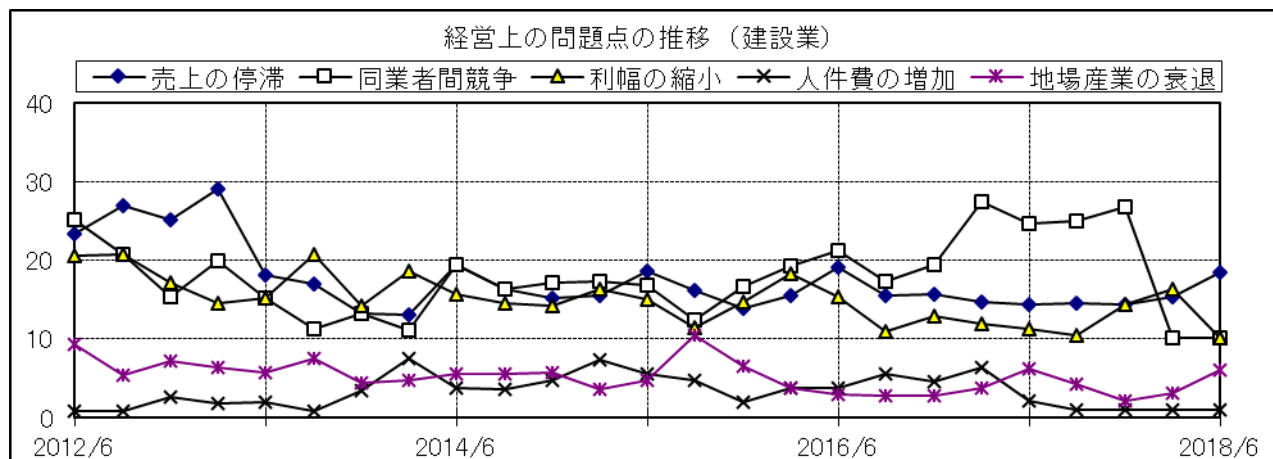
設備投資の充足感を示すD. I. は2.3で、前期(△4.7)比で7.0ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は11.6と、前期(7.0)比で4.6ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競争」が28.6%と最も多く、「売上停滞減少」18.4%、「利幅の縮小」・「大手企業との競争」・「人手不足」が同率の10.2%、「下請け確保難」・「地場産業の衰退」6.1%と続いている。

重点経営施策では、「経費節減」が62.8%と最も多く、「販路拡大」51.2%、「技術力強化」46.5%、「人材確保」37.2%、「情報力強化」32.6%と続いている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は11.6と、今期比18.6ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は34.8と、今期比13.9ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は18.5と、今期比7.0ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は11.6と、今期比2.3ポイントの上昇を見通している。

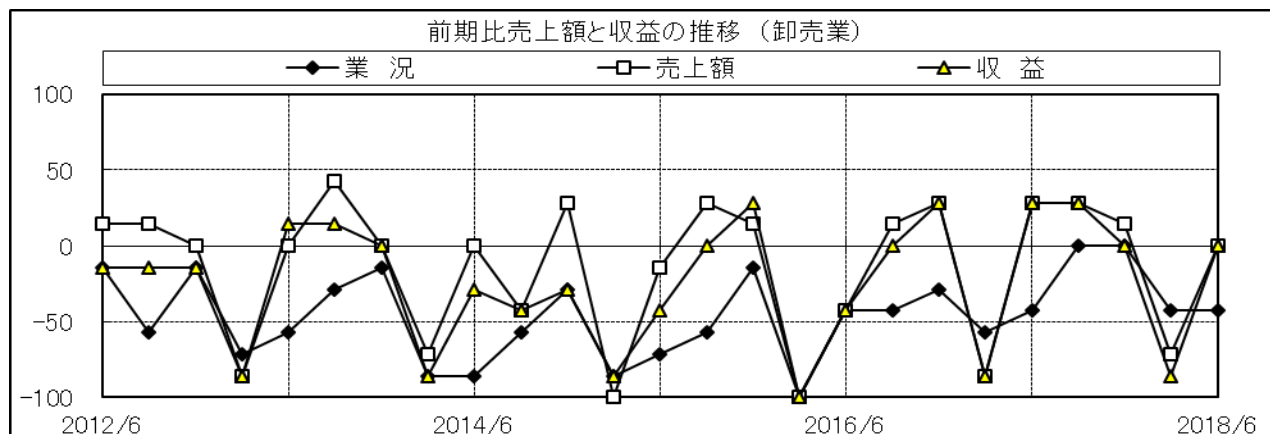
予想仕入価格判断D. I. は30.3と、今期比6.9ポイントの下降を見通している。

## 卸 売 業 7 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

### □ 景 況

| DI 値<br>の推移 | 10～12月<br>期実績 | 1～3月<br>期実績 | 4～6月<br>期実績 | 7～9月<br>期見通し |
|-------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 業 況         | 0.0           | -42.8       | -42.9       | 0.0          |
| 売上額         | 14.3          | -71.5       | 0.0         | 0.0          |
| 収 益         | 0.0           | -85.8       | 0.0         | 0.0          |

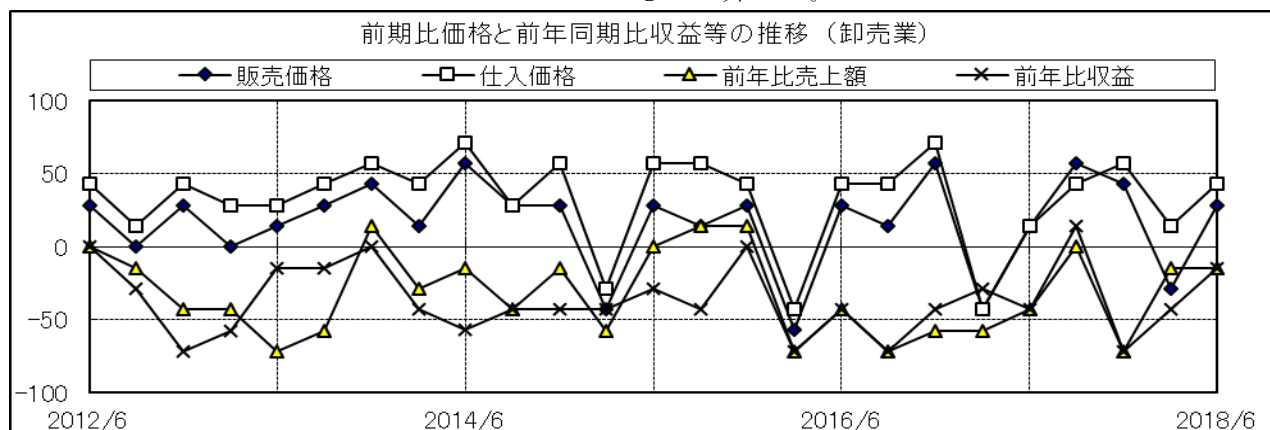
今期の業況判断 D. I. は△42.9 で、前期比 0.1 ポイント下降した。前年(△42.9)と同水準となった。地区別の水準は、浦河地区は下降、様似地区は上昇、静内地区は横這いとなった。売上額判断 D. I. は 0.0 となり、前期比 71.5 ポイント上昇。収益判断 D. I. も 0.0 となり、前期比 85.8 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

| DI 値<br>の推移 | 10～12月<br>期実績 | 1～3月<br>期実績 | 4～6月<br>期実績 | 7～9月<br>期見通し |
|-------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 販売価格        | 42.9          | -28.6       | 28.6        | -28.6        |
| 仕入価格        | 57.1          | 14.3        | 42.9        | -14.3        |

販売価格判断 D. I. は 28.6 で、前期比 57.2 ポイント上昇、前年(14.3)比で 14.3 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 42.9 で、前期比 28.6 ポイント上昇、前年(14.3)比で 28.6 ポイント上昇した。業種別では、水産業は販売価格が上昇、仕入価格は下降した。食品業は、販売・仕入価格ともに上昇した。



### □ 雇用面の動き

| DI 値<br>の推移 | 10～12月<br>期実績 | 1～3月<br>期実績 | 4～6月<br>期実績 | 7～9月<br>期見通し |
|-------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 残業時間        | 0.0           | 0.0         | 14.3        | 0.0          |
| 人手状況        | -28.6         | -28.6       | -28.6       | -28.6        |

残業時間判断 D. I. は 14.3 で、前期比 14.3 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△28.6 で前期と同水準となり、人手不足感に変動はなかった。

## □ 設備投資の動き

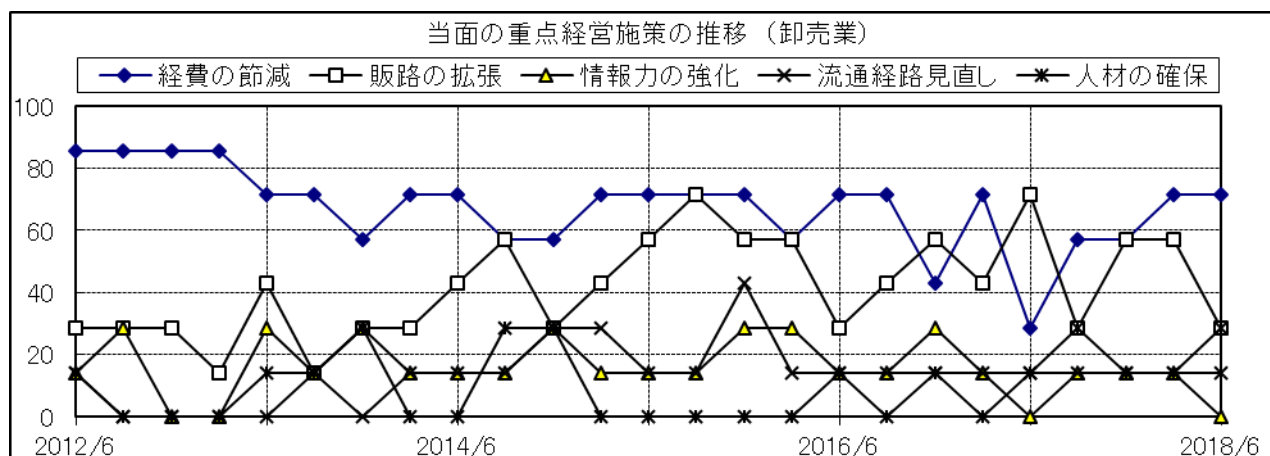
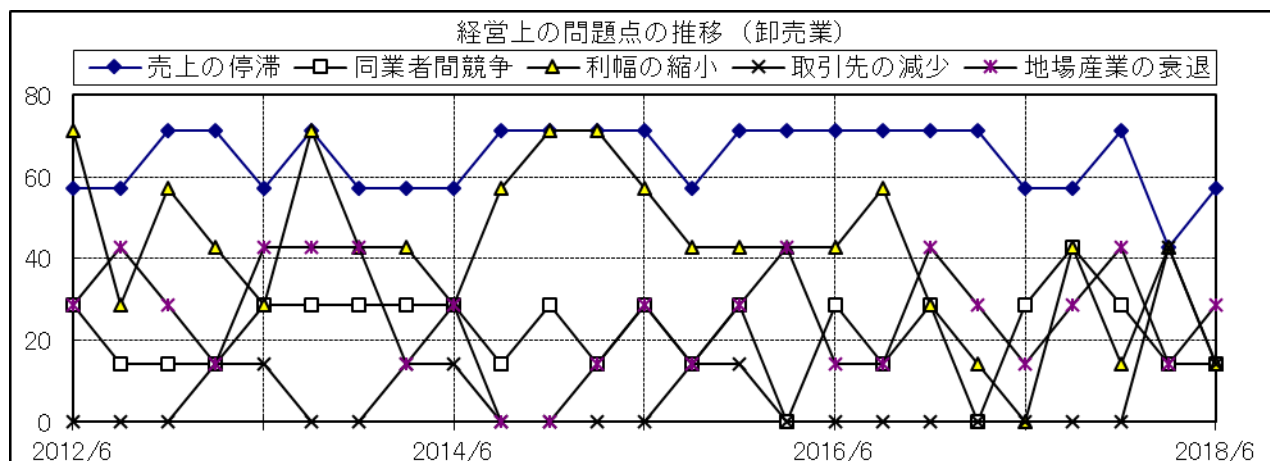
設備投資の充足感を示すD. I. は△14.3で、前期(14.3)比28.6ポイント下降した。

設備実施企業割合は0.0で、前期(28.6)比28.6ポイント下降した。設備投資は、前期2社に対し、実施企業はゼロとなった。来期の設備投資予定は1社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が57.1%と最も多く、「天候不順」42.9%、「地場産業衰退」28.6%、「同業者競争」・「利幅縮小」・「販売商品不足」・「諸経費増加」・「取引先減少」・「店舗老朽化」が14.3%となった。

重点経営施策では、「経費節減」が71.4%と最も多く、「販路拡大」・「人材確保」が28.6%、「新事業開始」・「パート化」・「流通経路見直し」・「不動産有効活用」が14.3%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は0.0と、今期比42.9ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は0.0と、今期と同水準を見通している。

予想収益判断D. I. は0.0と、今期と同水準を見通している。

予想販売価格判断D. I. は△28.6と、今期比57.2ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は△14.3と、今期比57.2ポイントの下降を見通している。